

西桂町 議会だより

第26号

平成11年10月27日発行

全世帯へ配付いたします。一部必ずお取り下さい。



10月2日保育所運動会、どちらもがんばれ！

定例会 平成11年9月	平成10年度一般会計決算賛成討論・監査委員報告…	2
	傍聴席から一言	5
	町長所信表明	8、9
	一般質問（2名）	10～13
	桂川流域下水道事業・建設文教委員会事務調査 …	14、15
	議案と審議・8月9日臨時会	16
	地域で活躍する団体を訪ねて・西桂キッズ	17

議会を傍聴
しましょう



1階の議会事務局で受付
していただくと、誰でも
傍聴できます。

町民の期待に応える町政を

一般会計賛成討論



石原 滋 議員

平成10年度西桂町一般会計歳入歳出決算認定について、賛成討論を行います。

昨年度と比較して歳入は2・0%の減、歳出は2・5%の減となっております。

決算の特徴として歳入歳出差引額より繰越明許費繰越額2千506万9千230円を差し引いた実質収支額は7千874万9千848円、実質収支比率5・5%となります。昨年度の6・5%より改善されており、

予算書に明記された歳入歳出額に近い数値で執行されたことを示しており、適正に諸事業が執行された事を高く評価します。監査委員より報告がありました財政

力指数、経常収支比率、公債費負担比率に関してはいずれの数値も改善されており、町民の生活と福祉向上に資する財源もあります。

平成10年度は前田町政による活・活西桂建設、実施3年目として、三ツ峠周辺整備事業、公共下水道整備事業と重点施策が提示され、国庫補助事業を取り込み平成11年度へかけて大型事業を執行中であります。活・活西桂建設の事業が順調に進んでおります。

町長選挙において4年間の活・活西桂建設が評価され、圧倒的多数の支持により執行者として付託を受けられました。この町民の期待に応える前田町長の責任は重大であります。

更なるご努力をお願いいたします。私の賛成討論といたします。

平成11年9月 定例会本会議

平成10年度

一般会計決算

歳入 20億5千804万8千107円
歳出 19億5千422万9千029円

堅実経営の維持を期待する

監査委員報告



渡辺卓三 監査委員

監査委員を代表して監査報告を申し上げます。

7会計決算について慎重に審査しましたところ、関係諸帳簿及び書類等良く符合して間違いなく適正に執行されております。財務事務も全体に良好に処理されていると認めます。

◎一般会計概要

実質収支7千900万円、実質収支比率5・5%と対前年度の収支比率で1・0%減のすばらしい数字を示し全体の決算額を高い精度で掌握した結果というところで、引き続きこの良好な数字を維持されるよう、努力をしていただきたいと思います。

◎財政分析指標

財政力指数の5年間の推移は0・33から0・32の横ばいの数値ときびしい数値になっていきます。経常収支

比率これは財政の硬直度を示す指標ですが、町村は70%以下が望ましいとされ、当町の場合69・5%対前年度比0・4%の減少で、努力が出ております。公債費負担比率は町村の場合10%以下が望ましいとされており、当町は7・8%、対前年度比0・8%の減で、努力した結果が出ております。

厳しい財政下にあるという認識上、経営的感覚が出ていと思われま。

◎将来に渡る財政負担

当町の標準財政規模14億3千100万円、これで除した数値で見ると、町債14億3千700万円、100・5%、積立金残高が11億4

千400万円、79・9%と、厳しい財政の中ですばらしい数値を示しているのではないかと思います。

中学校整備基金5千万

円、それから中山間地域活性化基金1千500万円を積んでおり、今後も堅実経営を維持していただきたい。

◎町税・国民健康保険税

収入未済率について町税が4・2%、固定資産税が10・1%、国保税17・0%と、対前年度比でいずれの数値も悪化ということです。担当係では分納制度、督促状、戸別訪問に努めていますが、全庁的な問題として取り上げていかなくてはならないかと思ひます。

◎行政改革の推進

行政改革に位置づけたOA化の推進状況は、現在、住民税、固定資産税等の税システムの導入に入っており、口座振替制度を早急に取り入れて徴収率を高めていただきたい。

◎簡易水道特別会計

耐震施設、水圧低下の解

物件費

8万0千534円



事務経費一般、臨時職員賃金、業務委託料等

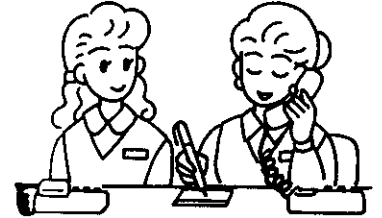
その他

4万8千040円

維持補修費、積立金
繰出金、投資出資金等

人件費

7万3千266円



主に常勤の職員の給与
町長、議員及び
各種委員等の報酬

公債費

3万1千218円



毎年度、償還すべき
町債の元金、利子

町民一人あたり
このように
使われました

平成10年度
一般会計決算



補助費等

4万6千762円



他市町村との広域業務
負担、各種団体等へ
補助等

投資的経費

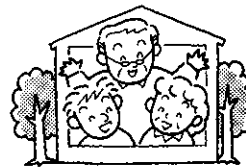
9万8千336円

大型備品の購入
町道水路
建物の建設 等



扶助費

1万5千127円



施設措置費、福祉手当
医療費助成、敬老年金

*町の貯金・借金の総額には特別会計分も算入してあります。

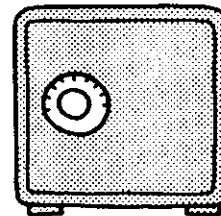


町の借金総額

20億9千860万4千円

町民一人あたり

42万2千339円



町の貯金総額

13億7千895万8千円

(土地を除く)

町民一人あたり

27万7千512円

消、老朽施設の改修を目指して、町民全体の問題として水道料金について近隣町村の実態を調査する中で、値上げを検討すべきではないでしょうか。

◎伝票起票
収入伝票に収入年月日の未記入、押印漏れ、支出伝票で納入年月日の未記入、請求書の検収印覽に検収漏れ、請求年月日の未記入があったので注意されたい。小山議員 この様な不手際は絶対にあってはならない。各担当の長が必ず確認をして提出される様にすべきだと思います。今後は未記入がないようにご指導をお願いするところでございます。渡辺監査委員 不備な点にはメモを添付してありますし、その内容についても自分の手控えに明記してございます。また職員の研修日等ございましたら、現実にごうことをお知らせして、改善に努めていただければありがたいと思います。

平成10年度活活西桂建設 予定通り執行済み

農業基盤整備事業と公共下水道整備事業は11年度へ継続



住民検診を受ける町民の皆さん

平成10年度 一般会計決算ほか 全議案が可決される

9月定例会・連合審査会

平成10年度 一般会計決算

問 町税の滞納者数と今後の処理は。

総務課 町民税では98名内法人3件、固定資産税では96名内法人11件、やむを得ないものは不納欠損の処理を行ないたい。収納には一層努力する。

意見 納税している町民に理解を得られる様、納税者の状況を把握して取り組んでいただきたい。

問 防犯灯街路灯整備事業の継続は。

総務課 11年度からは、区要望事項の中で対処する。

問 住民検診の受診者枠がいつばいで受診不能のケースについては、柔軟な対応

が必要では。

住民福祉課 定員の枠は前年度の実績で決定されている。今後は枠の数を増やし調整を希望对応したい。

問 三ツ峠周辺整備事業で憩の森の公衆トイレを三ツ峠さくら公園へ移転させたが、現状、設置状況が悪い様に感ずるが。

建設課 憩の森とさくら公園では同じ工法で設置した。

問 オートキャンプ場設計委託738万円余と明記されているが、この事業はやめたと説明したのは。

企画振興課 予算は三ツ峠さくら公園の設計委託にまわした。

審議案件

〔同意〕3件

同意5 教育委員会の委員の任命につき同意を求める



小佐野岩夫 委員
(富士吉田市)

同意6 教育委員会の委員の任命につき同意を求める



小保陽一 委員
(本町地区)

同意7 教育委員会の委員の任命につき同意を求める



権守安雄 委員
(柿園地区)

傍聴席から一言



小山多美子 さん

9月最後の本会議、議事、一般質問、質疑応答、全て採決、セレモニーの感？採決に至るまでに議員各位の異議も多々あった事と思います。介護保険、下水道、ごみ処理、パソコンと財政負担の多い案件で厳しい情勢です。町民の幸せと地域社会発展のため、政治に関わる方々の努力と活発な質



高山勝子 さん

疑応答を期待いたします。

女性学級の行事で議会傍聴に行きました。初めての会議室風景に最初の内は、把握するのにとまどいました。簡易水道、下水道、介護保険、ごみ処理、農業振興など行政も大変だと思いました。

これからも数多く色々な

事が出て来ると思いますが、町のためがんばって下さい。

初めて役場3階の議場に入りました。傍聴人取締規則に従い静かに少し緊張して、町議会の雰囲気を経験しました。我々町民の生活に関わった重要な議案について、質疑応答を厳粛に遂行している様子を傍聴した訳ですが、会議独特の言葉づかいで聞き取りにくい点がありました。どの様に会議が行なわれているか、そして今、町が取り組んでいる行政の動きについても知る良い機会でありました。

匿名希望

神鈴の滝のPRを

問 事業費を流用しても問題は生じないのか。
企画振興課 町単独事業なので他の機関への協議は必要がない。議会への事業変更の報告と理解は受けており、手続には問題がない。

問 神鈴の滝のPRをお願いします、また上流の堰堤整備が景観上必要では。

町長 県へお願いしたところ、整備予定との事である。

問 神鈴の滝をメインとした三ツ峠の写真を名刺に採用したらどうか。

町長 堰堤が整備された後、名刺を検討したい。

問 英語指導に外国人講師を迎えているが、小中学生の英会話に良い影響は現れているか。

教育長 中学校で1日3時間、小学校で週に5時間の授業に参加、小学生では講師と気楽に話し合える関係ができ、中学生では簡単な英会話も出来るようになっていっている。諸外

いつ建設するの 中学校校舎

国の理解に役立っている。

問 中学校建設日程と財源内訳は。

教育委員会 建設総事業費は概算で11億から12億円程度、基金と国の補助、起債で対応し、平成14年度には建設に着手したい。

町長 中学校建設基金以外の基金も取り崩し、町有財産の処分、また建設事業を精査して、出来るだけ借入れは少なくしたい。

問 青少年健全育成の夜間パトロールを、抜打ちによる巡回で実施したら。

教育長 町民会議による夜間巡回は啓蒙活動を重視して来たので、あらかじめ住民にお知らせしてきた。

問 非行防止の講演では悪い事例を提示される話が多い。実績が上がって良くなつた事例を知りたいのでは。

教育委員会 来年度は県関係機関と協議をして、講師の選定をしていきたい。

【条例】4件

議案32 西桂町職員の懲戒の手続および効果に関する条例の一部改正

○地方公務員法の一部改正に関連して、条例の字句の訂正を行なう。

議案33 西桂町三ツ峠グリーンセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正

○三ツ峠フットサル場の夜間照明設備の完成に伴い、使用料の一部を改正する。

三ツ峠フットサル場 夜間照明使用料

●町 民 300円
一時間当たり

●町民以外の者 500円
議案34 西桂町ホームヘルパー派遣手数料条例の一部改正

正

○国の事業運営要綱の一部改正に伴い、正に併い、県の指導により、手数料を引き上げる。

議案35 西桂町老人医療費助成金支給条例の一部改正

○県補助金要綱の一部改正により損害賠償請求権を第3者行為の医療について事務の明確化を行なう。

【補正予算】3件

平成11年度補正予算、別記

【決算】7件

平成10年度決算、別記

【議員発議】1件

議案5 道路整備予算確保に関する意見書の提出

○建設文教委員会での協議の結果、意見書提出と決定。

県の補助を受け 桂川に木製アーチ型の橋を建設

9月定例会・連合審査会

平成11年度 一般会計補正予算

問 保育所増改築工事設計

監理料の算出方法は。

住民福祉課 工事費の約

6%を計上した。

問 設計経費の実状価格は

もっと安いはずでは。

町長 補助対象事業として

申請するための予算上の措

置である。

問 公園費計上の桂川公園

へ設置する橋梁建設及び造

成費の補助率は。

建設課 補助率は20%で、

橋梁及び倉見側駐車場造成

事業も対象となる。

桂川へ設置する橋は 木製アーチ型へ変更

問 つり橋計画が、木製ア

ーチ型の橋に変更になった

理由は。

建設課 景観に配慮との、

県の指導もあり変更する。

木製の橋でも耐用年数は金

属製の橋と変わらない。

意見 より景観にマッチし

た橋として、事業変更は理

解できる。

問 中学校費の備品購入費

の内容は。

教育委員会 音楽部が演奏

のため使用するテナーサッ

クスとアルトサックスであ

る。これまで近隣の中学校

から借りて使用していた。

問 どのような楽器か。ま

た現在の部員数は。

教育委員会 木管楽器であ

る。現在は22名が音楽部に

所属している。

問 森林整備人夫賃を計上

しているが、どこの山を整

備するのか。

企画振興課 県補助により、

三ツ峠県有林を実施する。

民有林の整備も 県の補助で可能

問 民間の森林も補助対象

となるのか。

企画振興課 対象となる。

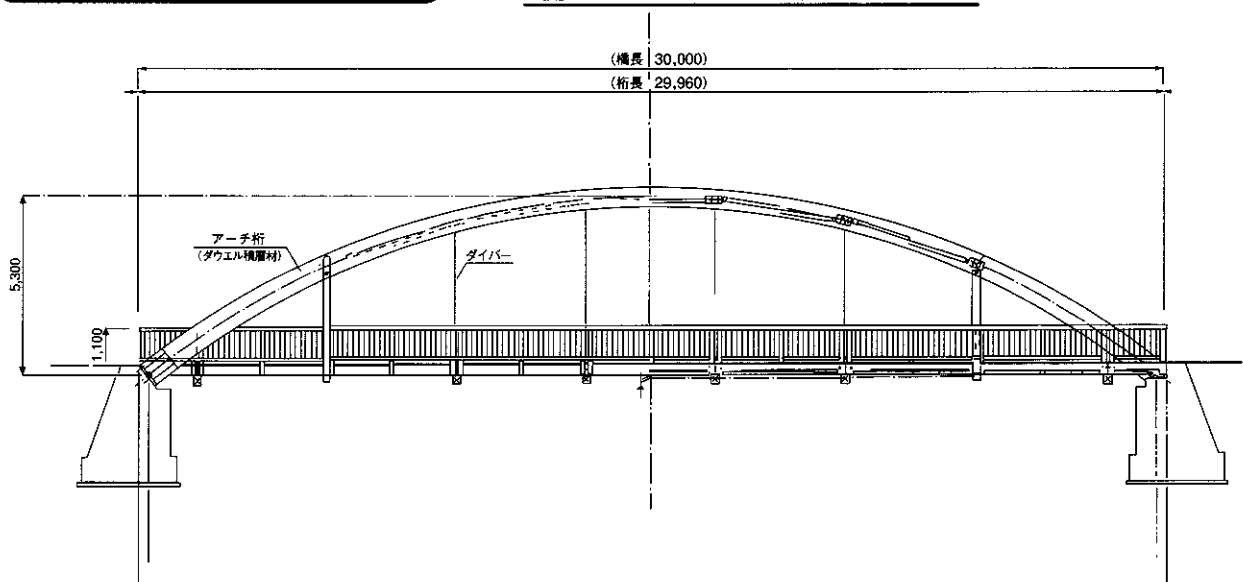
民間所有林についても補助

事業により整備に取り組ん

でいただきたい。

木製アーチ型橋梁計画図

側面図 S=1/100 単位:ミリメートル



9月定例会日程

7日議会運営委員会

◇運営方法決定

◇請願・陳情処理確認

14日全員協議会

◇議会運営確認

◇議会開会

◇会議録署名議員指名

◇会期の決定

◇町長所信表明

◇町長議案一括上程

(承認9/15

議案32/38)

一括説明・一括質疑

各常任委員会付託

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

◇休会議決

11年度 主な
補正予算計上

産業会館外壁等改修工事費751万3千円を計上

会 計 名	補 正 額	補正後の予算総額
議案36 一般会計3号補正	6千535万4千円	18億6千412万4千円
○基盤整備・道路体系の整備 三ツ峠線改良工事費他1件の計上。	2千080万0千円	
○産業振興・商工業の振興 西桂町産業会館外壁等改修工事費を計上する。	751万3千円	
○福祉充実・レクリエーション施設の充実 斜張橋として準備を進めていた桂川公園倉見側橋梁について、桂川の景観保全を重視した木製アーチ橋に設計変更するための経費350万円、倉見側駐車場用地の街灯設置工事費200万円の追加計上する。	550万0千円	
○福祉充実・社会福祉の充実 保育所増改築経費を計上する。	1千538万7千円	
○その他経費 税の前納報奨金240万8千円の追加、区要望事項を受けて農業用水路改修費等770万円、地方分権例規整備委託157万5千円等、追加計上する。	1千168万3千円	
議案37 老人保健法会計1号補正	300万0千円	2億8千409万0千円
○医療費支給費の追加 平成11年4月から8月分までの補装具・柔道整復師等医療費支給費の支払実績による増額である。	300万0千円	
議案38 グリーンセンター会計1号補正	95万3千円	3千259万6千円
○事業収入の追加 水販売収入の増加による追加計上である。	84万0千円	
○水販売事業費の追加 事業費の追加であり、財源として水販売収入84万円と繰越金を充当するものである。	95万3千円	

地域の道路整備に向けて 国に対して意見書を提出

道路整備予算確保に関する意見書（抜粋）

道路は人々の日常生活を支えるばかりでなく、産業、経済活動や豊かな地域づくりに欠くことのできない最も基本的な社会基盤である。真に生活の豊かさやゆとりを実感し、活力ある地域づくりを創造するためには、緊急かつ体系的な道路整備が是非とも必要である。

国道139号線及び県道富士吉田西桂線の交通渋滞解消を図り、西桂町内の新規バイパス等の建設を促進するためには、その財源となるガソリン税、自動車重量税等の道路特定財源制度を堅持するとともに、道路整備予算のなお一層の拡大確保が是非とも必要である。

よって政府は道路整備の重要性を深く認識し、次の事項が確保されるよう強く要望する。

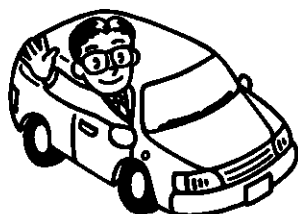
1. 平成12年度予算においては、新道路整備5箇年計画に基づき、道路特定財源制度を堅持するとともに、一般財源を大幅に投入し、道路整備を拡大すること。
2. 活力ある地域づくりを推進するため、町道から高規格幹線道路に至る道路網の整備を一層促進すること。
3. 地方の道路財源を確保すること。

以上、地方自治法の規定により意見書を提出する。

平成11年9月29日

内閣総理大臣、大蔵大臣、建設大臣、自治大臣 殿

西桂町議会議長



- ◇付託議案審査
29日全員協議会
- ◇議会運営確認
本会議再開
- ◇会期中の委員会所管事務調査報告（総務委員会、建設文教委員会）
- ◇付託議案総務委員長報告（承認9、13）
- 一 括質疑・討論・採決
- ◇付託議案建設文教委員長報告（承認14、15）
- 一 括質疑・討論・採決
- ◇町長議案追加上程（同意5、7）
- 一 括説明・一 括質疑・討論・採決
- ◇議員発議上程（発議5）
- 説明・質疑・討論・採決
- ◇一般質問（小山議員、滝口議員）
- ◇閉会中の委員会継続調査議決（総務委員会・建設文教委員会・議会運営委員会・議会広報編集委員会）
- 本会議閉会

調和と活力あるまちづくりを

9月定例会・本会議



6月の町長選挙におきましては、皆様方より多大なご支援を頂き、2期目の当選の栄に浴することができました。皆様のご期待に添うべく粉骨碎身努力いたす所存でございますので、今後もご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。私は、豊かな自然環境と新しい時代への夢が共存する町を目指し、調和と活力あるまちづくりを進める所存でございます。

では活活西桂建設のための重点施策等から一部の事業執行状況について申し上げます。

〈基盤整備について〉

道路体系の整備については、町道三ツ峠線の拡幅計画を進めており、土地所有者と誠心誠意、用地交渉に当たっております。すべての用地交渉が完了後、年内には工事着工が出来るよう、努力を重ねてまいります。下水道事業については、

7月26日に開催された桂川流域下水道推進協議会の席において県土木部長より総事業費が全体で300億円の増額、また供用開始についても当初計画の平成13年度が平成15年度と2年間延伸になったとの説明がありました。当町においての負担金の増額は9千700万円との試算であります。

西桂町を含めた桂川流域関連の3市2町においては、今後も桂川流域下水道推進協議会において納得のいく説明を求めていく考えであります。

流域下水道建設、納得のいく説明を 国際交流に町民のご理解を求める

前田町長所信表明

ごみ処理関係補助事業における電動生ゴミ処理容器補助制度であります。町の電器店等に協力をお願いし、現在ゴミ減量化の啓発と容器購入への普及に努

めているところです。

〈産業振興について〉

農業振興については、農業体験学習棟を整備し、遊休農地を利用して、青ばた大豆・そば・リンゴ等を農産物の特産品として積極的に取り入れていきたいと考えておりますので、農業委員会をはじめとして各種農業団体、各農家のご理解とご協力をお願いいたします。農業委員会では、昨年引き続き、小学生と一緒に農作物の栽培に取組んでいただきました。今後も、農業体験及び都市住民との交流会により農業振興対策を推進してまいります。

商工業振興については、昭和53年度に建設された産業会館について、老朽化が進んでいるため、外壁工事及びサッシ等の取り替え工事を行い、商工業の拠点である産業会館を安全に使用できるよう整備をしてまいります。

〈環境整備について〉

道路交通法の一部改正で、平成12年4月から6歳未満の乳幼児に幼児用補助装置、チャイルドシートの着用が義務付けられます。交通安全対策では、運転者の意識高揚を図ることが重要な課題の一つであり、チャイルドシート購入補助金については、近隣市町村の状況も見極めながら慎重に対応したいと考えております。

〈福祉の充実について〉

三ツ峠グリーンセンター施設整備事業については、順調に各種整備事業計画が進んでおります。フットサル場の夜間照明工事については、住民の健康増進・施設利用を促進するため、順調に工事が進んでおります。完成後には積極的なPR活動及び各種イベントを開催する中で、多くの町民、町外者等により利用していただくよう計画しております。県公園整備事業以外の桂川公園整備事業については

○ 平成10年度の7会計決算額 ○

会 計 名	歳入歳出決算差引	繰越明許費繰越額	実 質 収 支 額
承認9 一 般 会 計	1億0千381万9千078円	2千506万9千230円	7千874万9千848円
(区 分)	(歳 出 総 額)	(カッコ内 予算計上額)	
○基盤整備	2億0千052万6千円 (2億5千151万5千円)		
町単道路整備事業、町公共下水道整備事業、ゴミ収集事業、ゴミ処理関係補助事業			
○産業振興	1千122万9千円 (1千126万0千円)		
特定農地貸付事業、産地形成化促進事業、農林業振興計画策定事業、商工業活性化促進事業、織物業活性化製品開発補助事業			
○環境整備	6千589万9千円 (7千203万9千円)		
防災体制整備事業、小屋の入防災対策事業、住民防災意識高揚事業、自主防災組織整備事業、防犯灯・街路灯整備事業、交通安全対策事業、町総合行政システム化事業、町役場庁舎内装改修事業			
○福祉充実	3億5千587万8千円 (3億6千250万3千円)		
三ツ峠周辺整備事業、柿の木公園整備事業、新水源確保事業、配水管整備事業、漏水調査等業務委託、各種保健事業、デイサービスセンター運営事業、在宅福祉事業、高齢者生きがい対策事業、桂コミュニティー整備事業			
○人材育成	467万8千円 (492万9千円)		
ふるさと夏祭り事業、ボランティア活動環境整備事業、やまなし青年海外セミナー派遣事業、桂川クリーンキャンペーン事業、社会貢献活動支援事業			
○教育文化の促進	6千696万7千円 (6千812万6千円)		
芸術・文化交流、生涯学習事業、生涯スポーツの普及、児童館開放、カウンセリング事業、SSC事業、英語助手の活用、母と子の食生活共同体験、中学校建設整備事業			
会 計 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳入歳出決算差引
承認10 国民健康保険特別会計	3億0千395万5千892円	2億8千951万2千977円	1千444万2千915円
承認11 老人保健法特別会計	2億8千639万0千165円	2億7千806万7千549円	832万2千616円
承認12 グリーンセンター特別会計	2千864万4千226円	2千802万5千132円	61万9千094円
承認13 地域振興券特別会計	1千629万4千956円	905万0千956円	724万4千000円
承認14 簡易水道特別会計	7千820万2千725円	7千522万9千966円	297万2千759円
承認15 下水道特別会計	3億6千052万3千064円	3億5千467万5千824円	584万7千240円

町単事業として進めてまいりましたが、ここに来て、県の補助対象事業として採択していただけることになりました。採択要件として、倉見側と公園を結ぶ橋については、町の計画は斜張橋を考えていたわけですが、県から、地形及び景観を考慮した場合、アーチ型の橋のほうが適しているのではないかと指摘がありましたので、検討の結果、木製

のアーチ橋を架けていく計画で考えております。今後、先進地視察を実施して、より良い橋梁設置に向けて鋭意努力していく考えです。

「人材育成・教育文化振興について」

国際交流については、桂林市を訪れた25名の派遣団員で親善訪問の成果と今後の交流について意見等を集約いたしました。国際交



落合工区シールド現場を視察する町議会議員

流を進める国として桂林市は、桂の字の取り持つ縁、山紫水明・風光明媚の地、訪問の際大変友好的好感であつたことなど、適切な都市であると結論を得たところであります。この事業をより積極的に推進するためには、議員各位並びに町民のご理解とご賛同を頂きたいとお願い申し上げます。

小学校新通学路については、関係各方面の方々の協力により、9月6日より新通学路を利用した登校を開始しております。

個性ある教育の展開における情報教育推進の小・中学校パソコン導入については、7月中旬に郡内の先進4校を視察し、それに基づいて検討を重ねた結果、機器については学校現場の先生方の意見を尊重し、導入業者が決定しましたので10月を目処に新しいパソコンによるインターネットを中心とした、県下でも最先端を行く情報教育が始められるものであります。

いっぱん

質 問



町政を問う ここが聞きたい!!

答

問

介護保険制度の内容及 町の取り組み状況は

制度理解のため地区説明会を 開催し、諸準備を進めている



小山忠男 議員

問

10月より要介護希望者の申請受付が始まり、調査員が聞き取り調査後、医師の診断書を添えて、富士北麓介護認定審査会において介護区分の判定がされる。介護保険はケアプランを作るケアマネージャーの判断が重要であり、関係者の研究努力を望む。

次の事項についてお尋ねする。

①対応する構成員と職務名称と人数、②被保険者数、③保険料仮算定と消費範囲、④介護保険給付項目とその効能、⑤在宅サービスと住宅改善の限度額、⑥町独自のサービス、⑦市

町村の実態を調査し県はそれを基にサービスの必要量を推計した。その結果は。

以上。

町長

平成9年12月に介護保険法が成立し、国、県、町は、介護保険に関する諸準備を進めてきた。町

としては、この制度を、町民の方々に充分ご理解頂くよう各地区での説明会を開催した。

1点目の対応する構成員は、住民福祉課、総務課、社会福祉協議会の現状職員で事務を進めていく。

2点目の被保険者数は、現時点2千368人である。

3点目の保険料及び交付金の消費範囲は、特別会計で歳入財源は、保険料50%・国の交付金25%・県と町の財源は各12.5%で

ある。消費範囲は、在宅サービス、施設サービスの利用で保険給付される。

4点目の介護保険給付項目とその効能は、訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、短期入所生活介護、短期入所療養介護等々である。施設サービスは、介護老人福祉施設・介護老人保健施設及び介護療養型医療施設等である。効能は介護を社会全体で支えていき、高齢化社会に対処することである。

5点目の住宅改善限度額は、手すりのとりつけや段差解消など、小規模な住宅改修で、支給限度額は20万円が予定されている。

6点目の町独自のサービスは、ホームヘルプサービス、給食サービス、デイサービス等を考えている。

7点目の保険料仮試算について、訪問調査により、高齢者の見込み、居宅サービス、施設対象者人数の掌握等の事業費を算出し、保険料試算として、2千円強になる見込みである。

もう始まります。介護保険制度

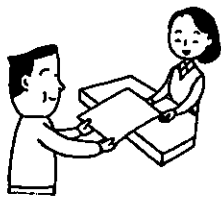
○平成12年○
介護保険のサービス

4月より スタート



○平成11年○
「要介護認定」申請受付

10月より スタート



◎申請については、受付当初に集中することが見込まれますので平準化を行ない、誕生月を単位に受付を行ないます。ご協力お願いいたします。

10月ー 1・2月生れの方
11月ー 3・4・5・6月生れの方
12月ー 施設入所者の方
1月ー 7・8・9月生れの方
2月ー 10・11・12月生れの方

お問い合わせ先

西桂町役場 住民福祉課
介護保険担当 TEL.25-2121
いきいき健康福祉センター
保健衛生担当 TEL.25-4000

ごみ処理・し尿処理施設の概要と負担金算出方法は

富士吉田市の施設を使用 施設維持のため負担金を支払う

問

①ごみ処理施設利用に伴う各種負担金の算出は。②ごみ処理施設の能力と性能は。③ごみ処理施設から排出された廃棄物の処理は。④ごみの総量とリサイクルされた量の対比率は。⑤ごみ処理広域構想

は。⑥し尿処理施設利用に伴う各種負担金の算出方法は。⑦し尿処理施設の能力と性能は。⑧し尿処理施設から排出された廃棄物の処理内容は。⑨し尿処理広域構想は。

町長

①のごみ処理運営負担金は処理量により算出し、本年度の予算は2千597万8千円で、年間で1千503トン処理予定、広域全体の5・51%となる。またごみ処理場建設起債償還負担金は、人口割により算出し、比率として7・12%となり、608万7千円を予算計上。

②の可燃物処理施設は、1日16時間稼働で45トンの処理能力の炉が2基、不燃物処理施設は、1日5時間で25トンの能力である。③について、現在は福井県敦賀市の最終処分場に搬出している。④のリサイクル率は平成10年度実績、可燃物・不燃物・粗大ゴミ併せて約1千535トンで、約8・1%

がリサイクルされた。

⑤の広域化構想については、現在、富士吉田市・西桂町・河口湖町・忍野村でごみ処理施設建設推進委員会を設置、検討している。

⑥の負担金は3つで、し尿処理運営負担金は処理量により算出し、本年度は年間1千984トンで、広域全体の8・52%、1千622万6千円を予算計上した。

し尿処理場建設起債償還負担金は、人口割70%・処理量割20%・均等割10%で算出し、本年度は568万7千円を予算計上、広域全体の7・83%が町の負担。し尿施設整備負担金の算出も建設起債償還負担金と同様で511万円を予算計上。

⑦のし尿処理施設の能力は、1日稼働して90トンの処理能力である。

⑧の廃棄物は、一部廃棄物について敦賀市の最終処分場に搬出している。

⑨、現状の施設は平成19年まで使用できるため、広域化構想は考えていない。



不燃ごみより缶とビンを仕分けする
環境美化センター職員

インターネットOA化の内容と 今後の機器整備計画は

町ホームページ開設に向けて 機器及びソフトの整備を図る

問

答

OAインターネット化の諸経費について、設置投資額は5千800万円のうち約32%弱にあたる1千813万円が経費とし

て予算化され、内訳は保守点検費1千513万円、借上料300万円となっているが、その内容と今後のOA機器の増幅計画についてお尋ねする。

町長

保守委託料は、OA機器保守委託、総合行政システム保守委託、固定資産税データコンバート委託の3点で、借上料は、本年度導入のインターネット用のサーバー2台と、税務・人事・情報管理等の守秘的な業務で利用するパソコン5台、ネットワーク用のソフト等のリース料である。このうちOA機器保守委託の中のインターネット専用線接続委託300千円と固定資産税データコンバート委託の252万円は、本年度のみの支出となる。

今後の導入計画は、業務用ソフトの改訂に備え、既存のパソコンを強化し、町内外への情報発信に向けて、町のホームページ開設のため、機器及びソフト等の導入を図っていききたい。

問 答

**農業体験学習棟の管理運営は
農業振興に向けた取り組みは
体験学習棟は農業団体の受入
体制が整えば運営を任せたい**



滝口憲一 議員

問

先進地視察の中で現実に成功している農業体験施設を拝見する時、地域住民の積極的な参加による管理運営等が事業成功の秘訣と考えている。

そこで農業体験学習棟の管理運営等をどのように進めていくのか、また平成11年度以降の国県とのヒヤリングの経過を伺いたい。

次に農業振興について現在、農業委員会、各種農業団体で遊休農地等を有効活用しているが、農業者の高齢化・担い手不足・農業機械の高額と問題が山積している。そこで共同使用のため、町による大型トラクターの購入はあるのか伺う。

次に町内において、有害鳥獣問題が急激に進んでおり、有害鳥獣駆除対策について、今後の方針及び県下の対策状況等について伺う。

町長

農業振興施策に取組むため、農業体験学習棟建設を実施した。この整備は、住民福祉は勿論、都市住民との交流の場とし

て、雇用機会の創出を最大の目的に建設している。

現在、施設利用計画策定事業を導入して、町民・町外者等が施設利用できる計画書を策定中である。農業体験学習棟の管理運営等については、当分の間、町で管理運営をし、各種農業団体の組織強化・人材育成等を図り、住民による組合、組織等が設立したとき管理運営をお願いし、雇用機会の創出を図り、町の活性化を図りたいと考えている。

国・県とのヒヤリングの経過は、新村振興等農林漁業特別対策事業のうち交流施設整備事業を計画し、協議の結果、承認された。

続いて大型トラクターの購入は、農業振興を図るため必要不可欠な農業機械である。高額であること、維持管理費の経費問題及び管理運営方法等の課題が山積していると考えている。責任のとれる組織等が設立できたら、補助事業導入により前向きに進めていきたい。



自家トラクターで遊休地を耕す農業委員

続いて有害鳥獣駆除について、サル・イノシシによる町内での被害が拡大しており、深刻な問題である。このため被害状況調査を実施した。対策として町猟友会に有害鳥獣駆除を業務委託している。今後、広葉樹等を山に植栽し、サルによる被害が軽減できないかと考え、現在、大月林務事務所において、事業を進めている。県に対策協議会等の早急な設置と有害鳥獣駆除対策の補助金等導入についてお願いした。

問

農業体験施設の運営は一般に官が入るより民間に任せたほうが良い。西桂のような零細規模な

農家では大型トラクターの購入は出来ない。前向きにしたい。また町長も県に行った時、駆除に力を入れていただくよう、要請していただきたい。

町長

体験道場は官が入れば成功しない。確かにそのとおりである。いくつかの団体と交渉をしていく方針と基本的には決めている。

大型トラクターについては、農業委員会が管理をしていただく契約が取れば、補助事業もあるので進めていきたい。また有害鳥獣対策は、振興事務所が協議会を作っている。それに期待していきたい。

10月3日実施、さつまいも掘り体験

(調査) 町公共下水道整備事業の進捗状況は

(結果) おおむね適正に処理されている事を確認した

水道課概要説明 事業計画は、計画処理面積110ha、計画処理人口6千人、町公共事業の事業費は33億円を予定し、国庫補助15億円、起債14億円、町負担が4億円である。

平成23年度の完成を目指し、現在、第4処理分区、柿園地区の整備に取り組んでおり、平成11年度には第3処理分区、倉見地区の事業認可を受ける作業を進めている。

工事にかかる地域の住民への説明では、事業説明と公共マス設置のお願いをしている。受益者負担金等の内容については下水道運営審議会の決定を持って説明していく予定である。住民の方の負担としては受益者負担金、宅内排水設備工事、使用料である。審議会の答申を受け各種の条例及び規則を作成し、議会にお諮りする。

供用開始予定年度は、平成15年度に柿園の一部、平成18年度に柿園の一部及び

倉見、平成21年度に本町及び上町、平成23年度に下暮地を予定している。

問 地方債の利率、償還年度は、また利率は変動するのか。交付税のバックはあるのか。

水道課 政府資金が主で5年据え置きその後25年払い、金利は現在の相場で概ね2・0%、将来に渡って固定している。地方交付税への算入は通常で元金、利子ともに50%である。

問 第4処理分区において流入点を増やすとの事であるが、他の処理分区などにおいても流入点を増やしていけば無駄な管の布設が避けられる。町公共管と流域管との接続方法についても、県に負担してもらえれば経費節約となる。

水道課 協議をしていきたいと思います。

意見 下水道事業は大規模な事業であり多額の予算がかかる。創意工夫により無駄な支出を無くすとともに、国・県にもお願いしたい。

問

小中学校パソコン導入内容と町民への開放に向けた事業は

答

導入後町民を対象としたパソコン教室を実施する

問

本年度予算の中にインターネット情報教育の推進として小学校20台、中学校40台のパソコンを新しくし、小学校はホームページの発信・他校との情報交流・調べ学習等を、中学校は社会に出てからもコンピュータを使いこなしていく能力の育成を図るなど、その目的には賛成できる。

そこで第1に機種選定について、第2に親子教室の

開催予定及び町民を対象にしたパソコン教室等、利用計画について何う。

町長

小中学校のパソコン機種選定は、教育委員会・小中学校及び総務課でプロジェクトチームを組み、多角的に検討させた。チームは郡内の学校を視察、その報告では、情報担当教師の方針、導入業者のサポート内容で、異なる環境に児童生徒を導いてしま

うとのことである。

また児童生徒用パソコンに自己復旧システムを導入していた学校があり、多数の児童生徒が自由に使えること、町民参加のパソコン教室等で幅広く使えることがわかり、機種選定の必須条件となったようである。

以上より①サーバー及びネットワーク管理②児童生徒用パソコン③プリンター等周辺機器と分けて契約することを決定した。

次に親子や町民を対象としたパソコン教室は、本年度も11月より6回程度実施する予定である。また新規に国の補助事業を取り入れ町民パソコン教室の開催を計画している。

問

イタズラをしても電源を切ると元に戻る、初心者にはありがたい最新鋭のパソコンである。

町長

このパソコンでは不要な内容を自動的に消す事ができ、誰が使用した後でも安心して子供達に使っていただける。



課題に取り組む小学校パソコンクラブ員

視察工事現場

桂川1号線落合工区シールド現場（田野倉）
桂川1号線梨木ヶ原トンネル現場（猿橋）
桂川清流センター造成、建設現場



桂川清流センターと国道を結ぶ橋梁建設現場

優れているところ	問題のあるところ
施工性・経済性の面から考えると有利な工法と言える。	施工区間で常時作業するため、路上交通への影響が大。騒音・振動対策が必要。
開削工法で困難な箇所でも可能	工事費が高い。作業敷地の確保が必要。
地質条件、周辺環境に影響されずに工事が行なえる。	全ての工法の中で最も費用がかかる。工事拠点に土地が必要。
周辺環境に影響されない。	地質により工法が変わってしまう。

県下水道課概要説明 桂川流域下水道事業は、西桂町を含む5市町で構成され、平成5年度に着手した。当初計画では全体事業費398億円、整備期間、平成5年から平成22年度を予定していた。平成7年2月に第1回の計画変更を行ない、全体事業費は450億円に増加した。

今回の計画変更は平成11年7月26日に関係市長町長各位に説明した案であり、全体事業費750億円に増加、供用開始を平成13年度当初から平成15年度当初に2年間延伸を行なう状況との説明である。

事業費300億円増加の理由は

今回の全体計画の変更でなせ300億円も事業費が増えるのかについては、①詳細な調査・設計に伴う変更244億円、②当初調査との相違30億円、③消費税及び物価スライド17億円、④規則・基準等の改訂9億

円が主である。特に①の詳細な調査・設計に伴う変更による増は全体の81・3%を占めており、シールド工法の採用による増174億円が大きく占めている。

変更後の町の負担は

変更後の全体事業費750億円のうち地方負担分は177億4千400万円、西桂町の負担は9億7千600万円、内交付税措置が7億300万円、純負担額は2億7千300万円と見込まれる。このため純負担の追加は西桂町において9千700万円と見込まれ、現状相場の利率では実質1億3千300万円の追加負担と計算される。

問 処理人口により算出される負担率について、今後の各市町の状況により変更があるのか。
県下水道課 実際には計画処理人口の変更について、各市町で総合計画を策定しているものでその上で相談さ



梨木ヶ原トンネル現場地下工区を視察



桂川清流センター建設現場で説明を聞く

(調査) 桂川流域下水道事業の進捗状況は (結果) 西桂町内は全てシールド工法を採用する。 町の追加負担は実質約1億3千300万円

下水道工法の比較	施工方法の名称	施工方法の概要
	閉削工法	地表面から管の基礎まで掘削して管渠を布設し埋め戻す工法。家庭と結ぶ町公共下水道の多くはこの工法を採用。
	推進工法	推進管の後部にセットした油圧ジャッキの推力により地中を押し進む工法。
	シールド工法	先端にシールドマシンを装備し、シールドという強固な鋼鉄の筒により、地中にトンネルを構築していく工法。流域下水道管で多く採用された工法。
	トンネル工法	山岳トンネル工法で、機械または発破により掘削しながら掘り進む工法。

せていただく。仮に減らすという事態になれば負担率に変更が生じ、他の市町にとっても影響が出る。

問 これからもシールド工法等の検討で追加負担がえられるのではないかと。県下水道課 地質が予想と異なっているため機械により掘り進むので、シールド工法においては作業内容の変更は不要である。

詳細な事業費を再計算しここに提示するもので、当然この金額で事業が出来るものと考えている。

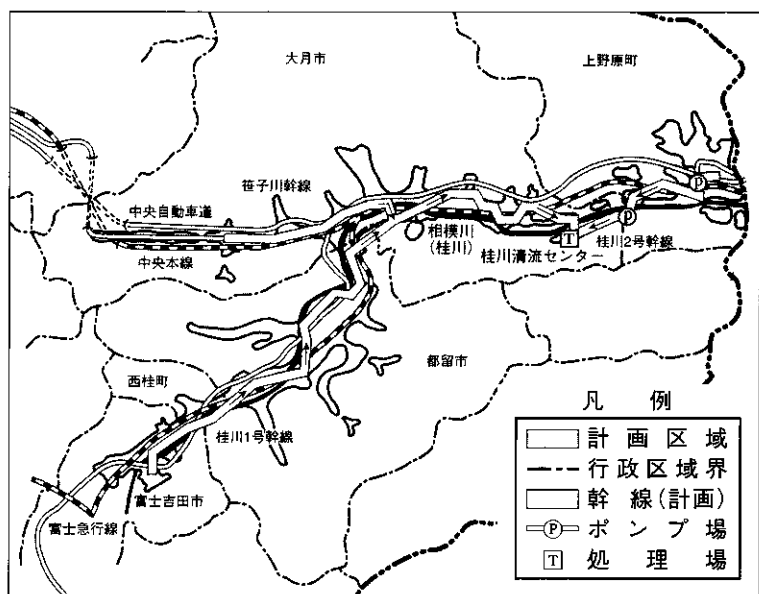
問 当町議会では数年前に国道139号線が交通渋滞になるので、これを避ける工法を採用していただきたいとお願ひした経緯がある。シールド工法で実施することとは地域要望を重視した結果であると理解している。

そこで県の流域幹線工事の中で、同時期に整備される市町の支線とをつなげる工事をしていただけるのか。接続のための工事を二重の手間でしなくてはならない。

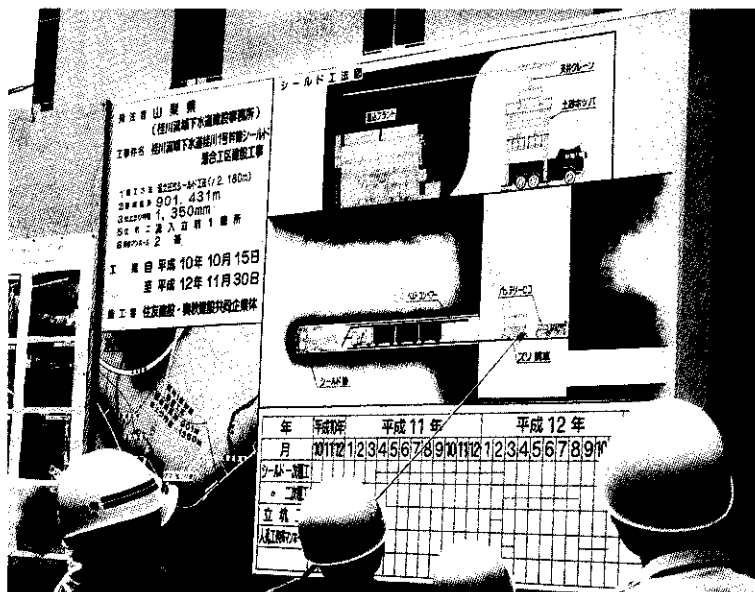
県下水道課 今の時点では現状の計画で進む予定である。事業の進行に伴って町の管渠が長くなってしまいうケースも生じるので、技術的に困難な事態が生じた場合、建設省に協議してみたいと思うので、市町からのご相談は受けた。

問 シールド工法に変更する事で174億円増加したと説明していたが、シールド工法で掘り進む場合の1m当たりの単価はいくら位なのか。

県下水道課 シールド工法での施工延長は全体で17kmと820mで、全延長の約3分の1を開削からシールドに変更する。シールド工法の単価はだまかに1m当たり120万円から150万円程度である。シールド工法は開削工法・トンネル工法と比べて一番単価が高い工法である。トンネル工法では地質条件が穴を掘っても崩れる恐れのない個所でないと、作業が困難となる。



桂川流域下水道（桂川処理区）



落合工区シールド現場で説明を聞く

農業体験学習棟の工事契約を承認

8月9日臨時会・連合審査会



下暮地地内の町有地を現場視察する町議会議員

工事請負契約の締結について

町長提案理由 体験学習棟

新築について、建物は鉄骨造2階建て、延べ床面積は348・0㎡の設計である。

入札の結果、河口湖町小立株式会社コバヤシ工業が8千60万円で落札し、消費税を含めた仮契約金額は8千463万円である。工期は平成12年2月末である。

問 参加する農業諸団体は、また木工室を使用する団体はあるのか。

企画振興課 大豆の会味噌加工、そばの会そば道場、

手織りの里グループ体験教室等が上げられ、個人の活動にも使っていたきたい。

また木工室については大林林務事務所職員を講師として教室を開いていきたい。

問 体験学習棟床の状況は。

建設課 1階休憩室は和室で畳、和室周辺の廊下は木、

その他各種体験室、ホール等はコンクリートに防水ビニールシートを貼り付ける予定である。2階についても防水ビニールシートを貼り付ける予定。

り付ける予定。

総務常任委員会

平成11年9月17日 所管事務調査

(調査)三ツ峠グリーンセンター施設整備計画の変更について

(結果)下暮地町有地のボーリング調査報告を受け再度検討したい

計画変更の必要性は、下暮地地区要望であり理解できる。今後も地区要望を聞くなど、慎重かつ特段の努力をもって事業を進めるよう要請する。変更計画案については、ボーリング調査報告を聞き、その後の課題としたい。

は、来年度建設予定の管理棟に設置する風呂の水と同じ水を利用し、下暮地の町有地にボーリングを実施し、地下水を利用する計画に変更したい。

問 ボーリングは、他の場所も検討し、水車は電力により水を循環式にし、再利用すれば良いのでは。

町長 必ず出るとは限らず、ボーリングをするなら町有地が良いと考える。また町有地周辺の住民より余剰水による防火用水、生活用水への利用という要望も出ており、考慮したい。

問 町長が申される要望は下暮地12の1、2組が出したもので、周辺には防火水槽も無く、側溝には水が無いため、火災への不安、生活排水による悪臭など、本当に困っており、地域要望を尊重してもらいたい。

町長 切実な要望として重大に受けとめている。配慮したい。慎重にかつ努力し、ボーリングの結果については後日報告する。

訪問先

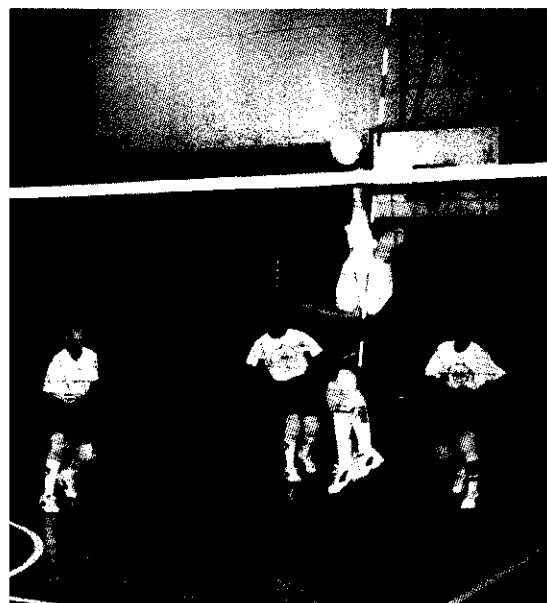
西桂キッズ



選手、指導者のみなさん

問 参加者と活動日、練習会場を教えてください。
貴家氏 西桂小学校3年生以上の12名が参加しています。指導者は私と小沢を含め5名です。
練習は週4回で月、水は夜で、土、日が昼です。練習会場は西桂小学校体育館を使用しています。

問 女の子だけが参加していますが、男の子は。
貴家氏 男子もやりたいと言えは参加できます。
問 どのような活動をしていますか。
貴家氏 主にバレーボールの強化練習、練習試合、年5回程度の地区大会に参加、後は町体育協会が主催する行事に参加します。
問 今後の目標は。
貴家氏 3年後学校は土日休みになります。受け皿としてスポーツ少年団活動を続けていきたいと思っています。子供達の健全育成が大切で、ボランティア活動にも目を向けさせていきたいと思っています。



アタック！6年生に続け下級生たち

問 保護者の組織は。
貴家氏 保護者会を組織しています。
問 保護者会は試合の際の、移動のため、車の確保などを行なうのですか。
貴家氏 そうです。それから本会の運営費用は全て保護者の負担で賄っています。
問 町行政と町民に希望することはありますか。
貴家氏 行政側には町民体育館を確保していただければ、他地域の子供達との交流のための地区大会も開けます。ミニバスも剣道もこの体育館を利用しています。
小沢氏 2面確保できれば、練習の際半分に仕切って、他の団体も利用できます。

問 この施設で不便な点は。
貴家氏 この体育館には不便を感じません。教育委員会に配慮していただいています。
問 練習を見ると6年生が多いように感じますが。
貴家氏 来年このままですと活動が難しくなります。
問 4、5年生に入っていないだきたいのでは。
貴家氏 そういう事で町民の方にはお願いします。
問 議会広報は読みますか。
貴家氏 読ませていただいています。議員さんも色々な事に取り組まれて、大変だと思いました。
代表者 貴家栄正
保護者会長 小林春美

8月臨時会日程

- 4日議会運営委員会
- ◆運営方法決定
- 9日全員協議会
- ◆議会運営確認
- ◆議会録署名議員指名
- ◆会期の決定
- ◆町長議案上程
- (議案31)
- 説明・質疑
- 総務委員会付託
- 本会議休憩
- ◆付託議案審査
- ◆付託議案再開
- ◆付託議案総務委員長報告(議案31)
- 質疑・討論・採決
- 本会議閉会

あなたの 請願・陳情は

審査見送りとなりました

陳情8 介護保険制度に関する要請書

陳情9 最悪の雇用情勢のもとで雇用創出と失業者の生活保障を求める緊急要請書

陳情10 「定住外国人の地方参政権」付与に反対する陳情書

陳情11 国民本位の公共事業推進と執行体制の拡充を求める陳情書

陳情12 不況打開、国民本位の公共事業と建設行政の民主的転換を求める陳情書

議会のうごき

7月

23日○納税貯蓄組合長会議

(議長)

26日○町農業委員会任期満了委員への感謝状贈呈式(滝口・権守議員)

8月

8日○富士山クリーンキャンペーン清掃活動

(全議員)

15日○ふるさと夏祭り

(全議員)

23日○決算監査(川村議員、25日まで)

○介護保険制度倉見地区説明会(地区議員)

24日○介護保険制度柿園地区説明会(地区議員)

25日○介護保険制度本町地区説明会(地区議員)

27日○介護保険制度上町地区説明会(地区議員)

29日○事業所別ソフトボール大会(全議員)

30日○介護保険制度下暮地区説明会

(地区議員)

9月

4日○町防災訓練(全議員)

9日○敬老会(全議員)

16日○中学校学園祭・体育祭(全議員)

19日○小学校運動会

10月

2日○保育所運動会(議長・総務委員長)

○町民慰霊祭(全議員)

10日○町民体育祭(全議員)



9月4日実施、町防災訓練



9月19日開催、小学校運動会



10月10日 町民体育祭にて



編集メモ

9月定例議会も終り、広報の原稿の締め切りに編集委員も深夜まで作業に追われている。昨今、茨城県東海村の核燃料加工会社JCOの臨界事故は、被爆者49人と、日本では最悪の事故となり、会社ぐるみの悪質な違法行為による、ずさんな安全管理が原因と報道されました。地方分権の推進の中、市町村への権限委譲がさらに加速化される今日、許認可の重要性を改めて痛感します。

教育委員会を所管とした女性学級のご婦人の皆さんが議会傍聴に訪れ、熱心に傍聴していただき、深く感謝申し上げます。今後ともチェック機能の場として、開かれた議会を目指してまいります。

編集委員長 川村 俊夫
副委員長 権守 文夫
委員 勝俣 照雄
委員 小山 忠男
委員 小林 隆芳